

3権分立よりも2権分立がいいと思う。今、世界で政治体制の主流は立法、行政、司法の3権分立だが、立法行政、司法の2権分立の方がいいと思う。この考えと、以前に書いた政党を無くすということが実現できれば、責任と権限がより明確となり、今のように立法と行政で、また、与党と野党で足を引っ張り合う事が無くなる。よって、よりダイナミックで迅速な政治決定実行が行えるようになる。具体的にどうするか？全国で選ばれた300～400人くらいの議員同士の選挙でリーダー（首班）を選ぶ。その首班が各省の課長級以上の役職にそれらの議員を公務員の政治的カウンターパートとして指名する。国民に選ばれた議員と、政策的専門職の役人が立法行政として共同で仕事を行う。この時、役人も今のように省庁ごとの採用ではなく、国として採用し、省庁間を自由に人事異動することとする（これで、役人は省益よりも国益を優先する存在となる）。さて、こうすると、今までの行政、立法よりもかなり強大な権力となり、立法行政が独裁となる可能性がある。そこで、司法の権限を今よりも強いものとする。司法のある役職以上をやはり選挙により選出し、民主的権限行使の根拠を付与する。すると、今のように司法が行政に遠慮して「高度な政治的事項により判断保留」のような無意味な判断が無くなり、新しい司法は立法行政の是非を明確に示す権限を持つことになる。つまり、立法行政は、思う事を迅速に実行する権限を手に入れるが、強大な司法により、憲法、法律に即さない政策は否決されるというチェックがかかる。以上のようなシステムで、迅速であるが、独裁が許されない政治体制ができる。私は、このような立法行政と司法の2権分立の新政治システムを提案する。